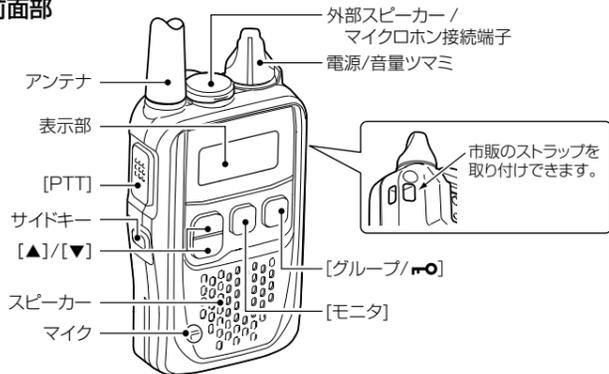
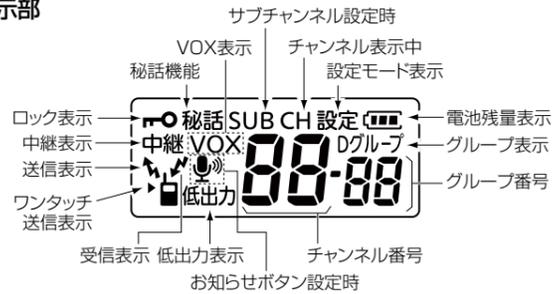


各部の名称

■ 前面部



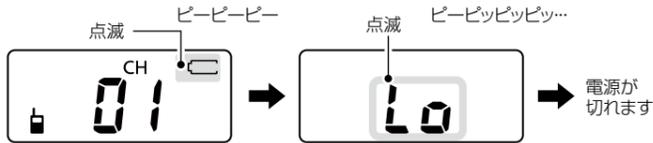
■ 表示部



電池の残量表示

電池の残量が少なくなると、電池マークが点滅します。極端に少なくなると「Lo」表示が点滅して、「ピーピーピピッ…」と鳴ったあと、電源が切れます。
※「Lo」表示中は、すべてのキー操作が無効になります。
※点滅したら、乾電池は新しい電池と交換し、充電式電池(BP-260)は指定の充電器で充電してください。

■ 電池の残量が極端に少ないとき



通話範囲について

周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)により、受信しにくくなる場合があります。
◎ 通話範囲は、周囲の建物などの状況により異なりますので、下記の数値を目安に通話してください。
見通しのよい場所：約2km
郊外：約1～2km
高速道路：約500m
市街地：約100～200m
◎ 通話範囲であっても、山や建物などが障害物となって、通話しにくくなる場合があります。そのときは、場所を少し移動して通話してください。
また、テレビやラジオなどの家電製品、パソコン、および電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなれてご使用ください。

送信時のアドバイス

相手が送信しているときは、送信キーを押しても混信防止機能が動作して、「プップッ」と鳴りつづき、送信できません。

■ 通話(送信)時間の制限について

送信出力を10mWに設定して通話される場合、1回の送信で連続して通話できる時間は、「3分以内」と電波法で定められています。
通話時間制限10秒前になると、「ピーッ」と鳴ります。
連続通話時間が3分になると、「フッ」と鳴って、自動的に送信を停止します。停止してから2秒間は、送信できません。
通話を再開する場合は、2秒後に[PTT]を押してください。

基本操作について

1. 電源を入れる

電源/音量ツマミを時計方向に回すと、電源が入り、待ち受け状態になります。
※反時計方向に「カチッ」と鳴るまで回すと、電源が切れます。

2. 音量を調整する

受信中に、電源/音量ツマミを回して、聞きやすい音量に調整します。

3. 通話チャンネルをあわせる

[▲]/[▼]を押して、相手と同じ通話チャンネルにあわせます。
※押すごとに、01～20→中継01～中継27→01の順に切り替わります。
※押しつづけると連続で切り替わります。
・選択範囲 単信：01～20
半復信：中継01～中継27
※中継チャンネル(半復信)で通話するときは、中継装置(別売品)が必要です。



4. 呼び出しをする(送信する)

[PTT]を押しながら、マイクに向かって呼びかけます。呼びかけたらすぐに[PTT]をはなします。
※手に持って運用するときは、マイクを指でふさがないようにご注意ください。



【通話チャンネルが単信の場合】

[PTT]を押すと、送信中は表示部の送信表示「」が点灯します。

【通話チャンネルが半復信の場合】

[PTT]を押すと、表示部の送信表示「」が一瞬点灯し、次に中継装置と接続されて(表示部の受信表示「」が1回点灯)、相手局を呼び出します。



マイクに向かって話すときは、口元から5cmほどはなし、普通の大きさの声で通話してください。
マイクを近づけすぎたり、大きな声を出したりすると、かえって相手に聞こえにくくなりますのでご注意ください。

5. 呼び出しを受ける(受信する)

[PTT]をはなした状態にして、相手局の電波を受信すると、表示部の受信表示「」が点灯して、相手の音声が聞こえてきます。
※双方が同時に送信すると、通話できません。
※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、会話がスムーズに運びます。



ロック機能について

[グループ/ro]を長く(約1秒)押すと、ロック機能がONになり、表示部に「ro」が点灯します。
※同じ操作をすると、ロック解除できます。
※電源/音量ツマミ、[PTT]、[モニタ]は、ロック中でも使用できます。
※サイドキーは、割り当てた機能により異なります。

グループ通話をするときは

グループ通話は、通話チャンネルとグループ番号の2つが一致した無線機とだけ通話できる機能です。特定のグループと通話するのに便利です。

- [▲]/[▼]を押して、相手と同じ通話チャンネルにあわせる
- [グループ/ro]を短く押して、グループ番号設定モードに切り替える
・「設定」が表示され、「グループ」が点滅します。
- [▲]/[▼]を押して、グループ番号を選択する
※押しつづけると連続で切り替わります。
※操作しない状態が5秒以上つづくと、グループ番号設定モードを解除します。
・選択範囲 グループ：01～38
Dグループ：01～83
OFF：ー(ハイフン)
※中継チャンネル設定時、「Dグループ」は選択できません。
- [グループ/ro]を押して、グループ番号設定モードを解除する
- [PTT]を押して通話する



設定モードについて

運用状況に応じて、設定モードからお好みの設定に変更できます。

1. 設定モードに入る

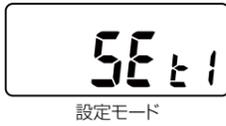
【設定モードの入りかた】

電源を切った状態で、[▲]を押しながら電源を入れる
・「ビビビッ」と鳴り、「SEt1」が一瞬表示されたあと、設定モードに入り、「設定」が表示されます。

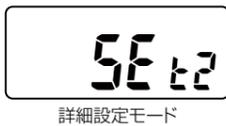


【詳細設定モードの入りかた】

電源を切った状態で、[▲]と[▼]を押しながら電源を入れる
・「ビビビッ」と鳴り、「SEt2」が一瞬表示されたあと、詳細設定モードに入り、「設定」が表示されます。



- [グループ/ro]、または[モニタ]を押して、設定項目を選択する
- [▲]/[▼]を押して、設定内容を選択する
・押すごとに設定内容が切り替わります。
- [グループ/ro]、または[モニタ]を押して、設定内容を確定する
※ほかの機能も変更するときは、手順2～4の操作を繰り返します。
- [PTT]を押す
・設定モードが解除されます。
※手順3のあとに電源を入れなおしても、設定内容が反映されます。



■ 設定項目一覧表

下記は、詳細設定モードで表示される項目です。
※設定によって、設定項目の表示/非表示が変わります。詳細な設定内容などについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご確認ください。

| 表示 | 設定項目 | 表示 | 設定項目 |
|----|-----------------|----|-------------------------|
| Pt | Pt ワンタッチPTT機能 | tb | tb トーンバースト機能 |
| Co | Co コンパンダ機能 | Eo | Eo 外部電源出力 |
| SE | SE 秘話機能 | Sh | Sh スキャン機能 |
| Po | Po 送信出力 | E1 | E1 簡易スキャン対象チャンネル(1～6)*3 |
| ro | ro 受信専用機能 | St | St スキャン再スタート*4 |
| Sq | Sq スケルチレベル*1 | Sd | Sd サイドキー割り当て |
| LE | LE マイク感度レベル*1 | CL | CL お知らせボタン*5 |
| oc | oc VOX機能*1 | bL | bL ベル音選択*6 |
| oL | oL VOX感度*1*2 | So | So 音声録音*7 |
| dE | dE VOXディレイタイム*2 | | サブチャンネル*8 |
| CA | CA 断線検出機能 | SC | SC サブチャンネルグループ番号*8 |
| ty | ty 電池種類 | ot | ot 専用オプション*8 |
| Ch | Ch チャンネル | qL | qL 一時音量切り替え |
| Pb | Pb ポケットビープ | to | to 送信音モニター |
| bP | bP 操作時のビープ音 | dS | dS チャンネル非表示 |
| PS | PS パワーセーブ機能 | | |

- ★1：設定モードでも表示される項目です。
- ★2：VOX機能を「oF」以外(有効)に設定すると表示されます。
- ★3：スキャン機能を「ES」(簡易スキャン)に設定すると表示されます。
- ★4：スキャン機能を「oF」以外(有効)に設定すると表示されます。
- ★5：サイドキーもしくは専用オプションを「CL」(お知らせボタン)に設定すると表示されます。
- ★6：お知らせボタンを「bL」(ベル)、「bS」(ベル+音声)に設定すると表示されます。
- ★7：お知らせボタンを「So」(音声)、「bS」(ベル+音声)に設定すると表示されます。
- ★8：サイドキーを「Sb」(サブチャンネルPTT)に設定すると表示されます。

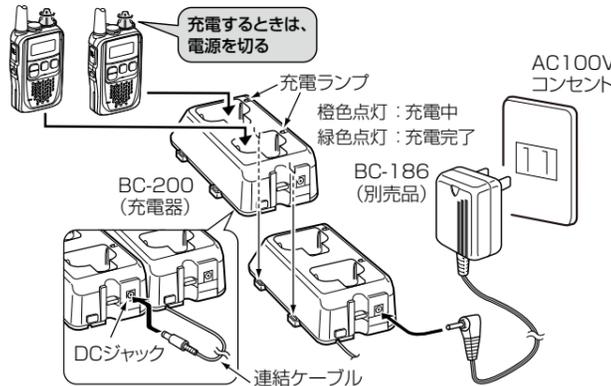
別売品について

本製品を便利にお使いいただくため、別売品をご用意しています。
※別売品については、弊社ホームページ <https://www.icom.co.jp/> をご覧ください。

■ 充電式電池(BP-260)の充電のしかた

お買い上げいただいたときや2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してから、ご使用ください。
充電式電池(BP-260)を無線機に装着した状態で充電します。
※BC-200にはBC-186を付属していませんので、別途お買い求めください。

充電時間：約10時間(BP-260の状態により異なります。)



△危険

- ◎ 指定のニッケル水素電池(BP-260)以外は充電しないでください。液もれ、発熱、破裂、けがのおそれがあります。
- ◎ 充電するときは、必ず本製品に対応した充電器(弊社ホームページにも掲載)をご使用ください。
- ◎ 「安全上のご注意」(表面)を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

△警告

- ◎ BC-200を連結して充電できるのは、最大5台までです。6台以上の台数を連結して充電しないでください。火災、発熱、感電、けが、故障の原因になります。

初期化(リセット)操作について

静電気などによる外部要因で本体の表示や動作がおかしくなったときは、リセットをしてください。

- 電源を切った状態で、[グループ/ro]と[▼]を押しながら電源を入れる
・「ビッ」と鳴り、「rEs」が点滅します。
- [PTT]を押す
・「ビッ」と鳴り、「rEs」が点灯に変わり、1chが表示されると、リセットが完了します。
※ロック([ro]が点灯)中は、リセットできません。ロック機能を解除してからリセットしてください。



困ったときは

本製品の詳細な取り扱いについては、弊社ホームページに掲載の取扱説明書をご確認ください。

| 現象 | 原因 | 処置 |
|---------|----------|-----------------------------|
| 電源が入らない | 電池極性の間違い | 極性を確認して入れなおす |
| | 接触不良 | 無線機の接触端子を清掃する |
| | 電池の消耗 | アルカリ乾電池を交換する、またはBP-260を充電する |
| 音が出ない | 音量が最小 | 電源/音量ツマミの位置を確認する |